

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「メロン世界新興国ソブリン・ファンド（愛称：育ち盛り）」は、2023年5月17日に第191期決算を行いました。当ファンドは、世界新興国ソブリン・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、現地通貨建ての新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券（エマーシング・マーケット債券）に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っております。ここに、第186期から第191期までの運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT

メロン世界新興国 ソブリン・ファンド （愛称：育ち盛り）

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第32作成期

作成対象期間(2022年11月18日～2023年5月17日)

第186期(決算日2022年12月19日) 第187期(決算日2023年1月17日)
第188期(決算日2023年2月17日) 第189期(決算日2023年3月17日)
第190期(決算日2023年4月17日) 第191期(決算日2023年5月17日)

第191期末(2023年5月17日)

基準価額	3,594円
純資産総額	3,096百万円
第186期～第191期	
騰落率	8.0%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記のホームページの「ファンド一覧」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。
なお、過去5年間の運用報告書（全体版）につきましては、「ファンド一覧」画面の右「ファンド情報」欄の一番下の「運用報告書（全体版）過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館

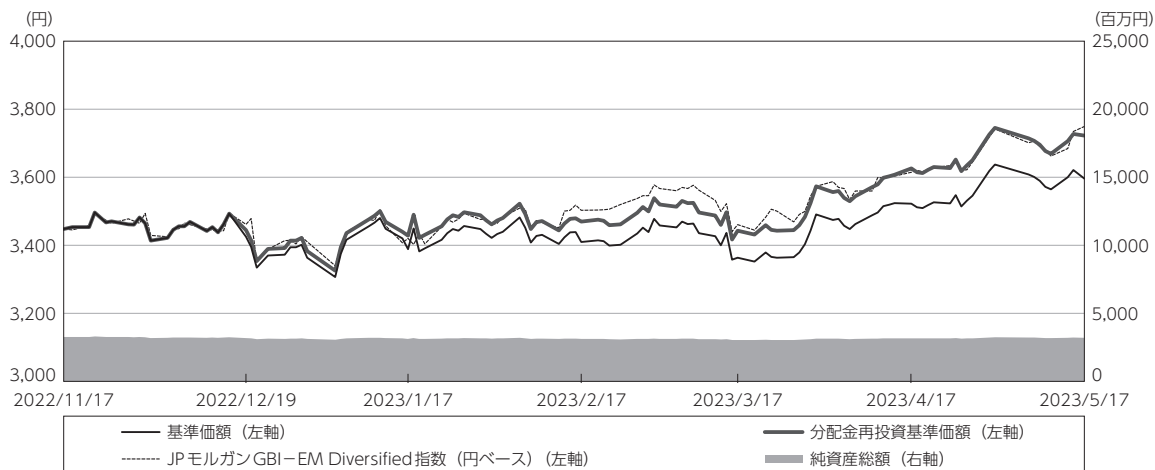
＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞
運用商品開発部

電話番号：03-6756-4600（代表）

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

作成期間中の基準価額等の推移



第186期首： 3,445円
 第191期末： 3,594円 (既払分配金(税込み)：120円)
 騰落率： 8.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) JPモルガンGBI-EM Diversified指数(円ベース)は当ファンドのベンチマークです。詳細は4ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・米国のインフレピークアウトを背景に金融引き締めの鈍化観測が広がったことで新興国債券市場への買いが優勢となったこと
- ・中国の厳しい新型コロナウイルス関連対策が撤回され中国景気の回復期待が高まるなか新興国債券市場が上昇したこと

(下落要因)

- ・2023年2月、米国長期金利の上昇が売り材料視されたほか、米中関係の悪化や原油相場下落を警戒する動きから新興国債券市場への売り圧力が強まったこと

1 万口当たりの費用明細

(2022年11月18日～2023年5月17日)

項 目	第186期～第191期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	31	0.900	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、3,458円です。
(投信会社)	(16)	(0.464)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(14)	(0.409)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理 および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.027)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	5	0.157	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.129)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.011)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.014)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	36	1.057	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

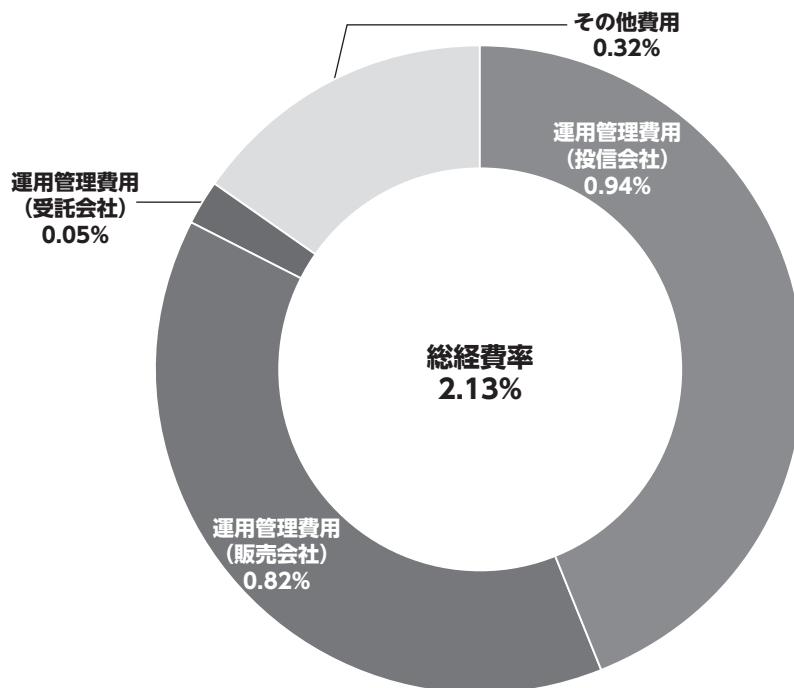
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



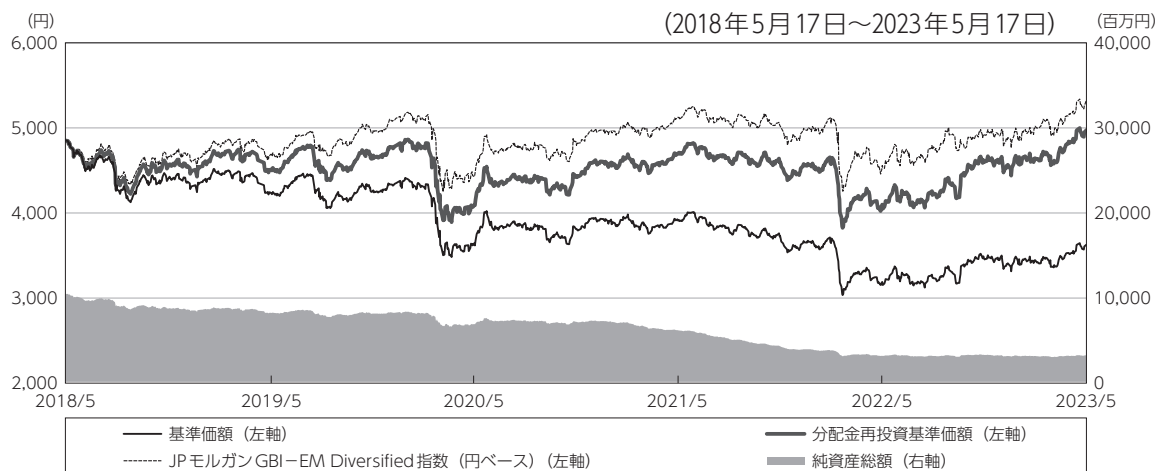
(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2018年5月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) JPモルガンGBI-EM Diversified指数(円ベース)は当ファンドのベンチマークです。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、2018年5月17日の値が分配金再投資基準価額と同一となるように計算しております。

	2018年5月17日 第131期末	2019年5月17日 第143期末	2020年5月18日 第155期末	2021年5月17日 第167期末	2022年5月17日 第179期末	2023年5月17日 第191期末
基準価額 (円)	4,849	4,227	3,611	3,904	3,148	3,594
期間分配金合計(税込み) (円)	—	285	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.0	△ 9.4	15.1	△ 13.8	22.6
JPモルガンGBI-EM Diversified 指数(円ベース) 騰落率 (%)	—	△ 3.4	△ 5.0	15.2	△ 12.2	18.8
純資産総額 (百万円)	10,382	8,129	6,769	6,062	3,049	3,096

(注) 上記騰落率は、1年前の決算応当日との比較で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

●ベンチマークに関して

JPモルガンGBI-EM Diversified 指数(円ベース)は、現地通貨建て新興国債券市場を代表する指数です。

当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しております。

投資環境

現地通貨建て新興国債券指数である J P モルガン GBI-EM Diversified 指数（円ベース）の当作成期における騰落率は、8.8%となりました。

一時的な米国長期金利の上昇が売り材料視されたほか、米中関係の悪化や軟調な原油相場などは下押し圧力となりましたが、米国のインフレピークアウトを背景に金融引き締め鈍化観測が広がったことで新興国債券への買いが優勢となったことや、中国の厳しい新型コロナウイルス関連対策が撤回され中国景気の回復期待が高まるなか、上昇基調で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは「世界新興国ソブリン・マザーファンド」受益証券への投資を行いました。

「世界新興国ソブリン・マザーファンド」は、主として新興国の政府・政府機関などの発行する現地通貨建て債券への投資を行いました。以下は当該マザーファンドの運用の状況です。

通貨配分

南アフリカランド、ポーランドズロチなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、香港ドル、台湾ドルなどをベンチマーク比低めの配分としました。

国別配分

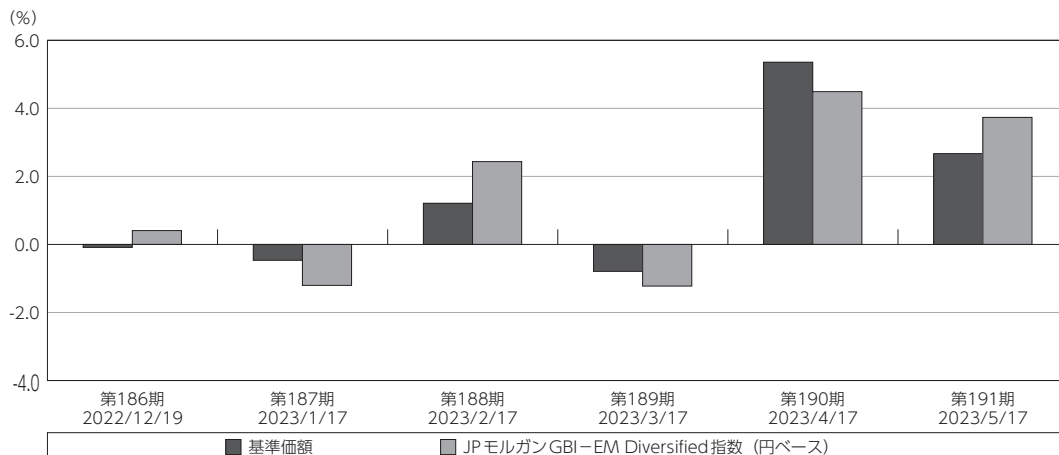
南アフリカ、ブラジルなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、ポーランド、マレーシアなどをベンチマーク比低めの配分としました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当作成期の基準価額の期中騰落率は8.0%（分配金再投資ベース）、ベンチマークであるJPモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）の期中騰落率は8.8%となりました。

ベンチマーク比パフォーマンスにおいては、通貨別配分において香港ドルをベンチマーク比低めの配分としていたことがプラス要因となった一方、南アフリカランドをベンチマーク比高めの配分としていたことがマイナス要因となりました。国別配分では、コロンビアをベンチマーク比高めの配分としていたことがプラス要因となった一方、ポーランドをベンチマーク比低めの配分としていたことがマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークはJPモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）です。詳細は4ページをご参照ください。

分配金

当作成期中の収益分配については、基準価額水準等を勘案し、毎月20円（税込み）、計120円をお支払いいたしました。

分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用致します。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期
	2022年11月18日～ 2022年12月19日	2022年12月20日～ 2023年1月17日	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.581%	20 0.587%	20 0.584%	20 0.592%	20 0.565%	20 0.553%
当期の収益	8	10	20	8	14	13
当期の収益以外	11	10	—	11	5	6
翌期繰越分配対象額	405	395	415	404	399	392

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

<当ファンド>

引き続きファンドの基本方針に則り、世界新興国ソブリン・マザーファンド受益証券を高位に組み入れた運用を行います。

<世界新興国ソブリン・マザーファンド>

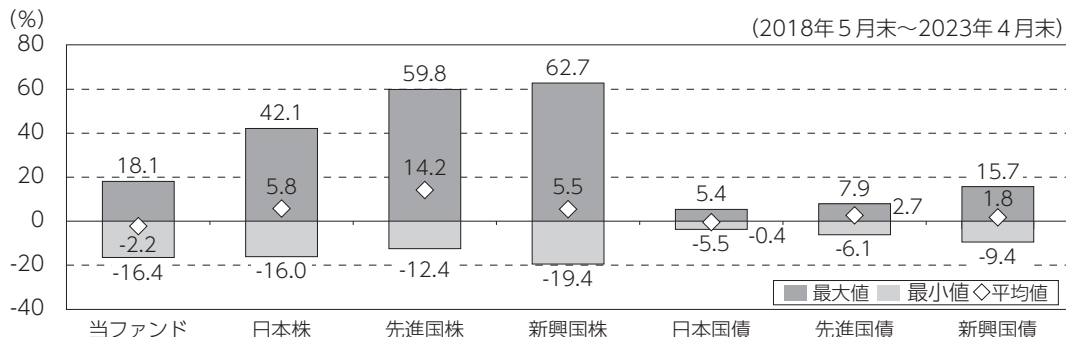
新興国債券市場は、引き続き米国の金融政策、米ドル相場の推移、先進国と新興国間における経済成長の格差などの影響を受けるとみられます。リスク要因としては、グローバル経済の見通しを巡る不透明感の高まり、米国金融セクターの不安拡大などが挙げられます。一方、主なプラス要因としては、中国の経済再開に伴う成長期待や需要の回復が挙げられ、コモディティ輸出国やアジア諸国などを中心に恩恵を享受すると予想します。加えて、新興国の経済成長見通しが先進国対比で良好なこと、相対的に利回りが高いため資金流入が期待できることなども支援材料です。運用においては、引き続き、インフレ動向、世界的な金融引き締め動き、経済減速、地政学リスク、加えて新興国各国の財政状況などを注視しつつ、良好なファンダメンタルズを有し魅力的で投資価値のあるバランスのとれたポジション構築を目指してまいります。

■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	メロン世界新興国ソブリン・ファンド（ベビーファンド）	「世界新興国ソブリン・マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	世界新興国ソブリン・マザーファンド（マザーファンド）	新興国が発行した現地通貨建ての国債等を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として現地通貨建ての新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券（エマージング・マーケット債券）に投資します。</p> <p>②外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>③JPモルガンGBI－EM Diversified指数（円ベース）をベンチマークとします。</p> <p>④マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>⑤市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>	
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、安定的に収益の分配を行います。また、毎年5月および11月の決算時にはボーナス分配金として、分配対象額の範囲で、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。安定した分配を継続的に行うことを目標としますが、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年5月から2023年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

《各資産クラスの指数》

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という) が算出・公表している、日本の株式を対象として算出した株価指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J P X に帰属します。

先進国株・・・MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

日本国債・・・NOMURA - BPI 国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE Fixed Income LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

新興国債・・・JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

■当ファンドのデータ

組入資産の内容

○組入上位ファンド

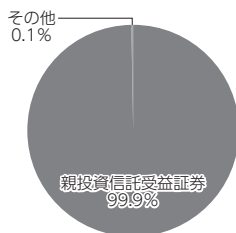
(2023年5月17日現在)

銘柄名	第191期末
世界新興国ソブリン・マザーファンド	%
組入銘柄数	1銘柄

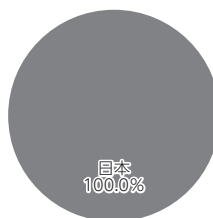
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

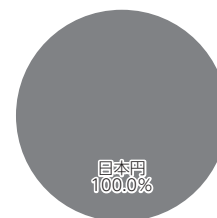
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末	第191期末
	2022年12月19日	2023年1月17日	2023年2月17日	2023年3月17日	2023年4月17日	2023年5月17日
純資産総額	3,076,998,314円	3,013,724,541円	3,014,331,169円	2,931,798,330円	3,059,382,463円	3,096,474,606円
受益権総口数	8,992,197,121口	8,901,242,247口	8,847,646,172口	8,726,861,910口	8,690,319,148口	8,615,384,822口
1万口当たり基準価額	3,422円	3,386円	3,407円	3,360円	3,520円	3,594円

(注) 当作成期間中(第186期～第191期)における追加設定元本額は151,105,567円、同解約元本額は698,468,273円です。

組入上位ファンドの概要

◆世界新興国ソブリン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年5月18日～2023年5月17日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月18日～2023年5月17日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	37 (36) (1)	0.279 (0.268) (0.010)
合計	37	0.279

期中の平均基準価額は、13,340円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。

(注) 当ファンドの決算は年1回であり、直近の決算期末は2023年5月17日です。

【組入上位10銘柄】

(2023年5月17日現在)

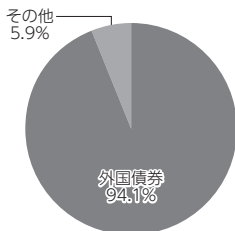
銘柄	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 3.29%CHINA GOVT BOND5/29	国債証券	オフショア人民元	中国	9.4
2 5.8% ROMANIA GOVT 07/27	国債証券	ルーマニアレイ	ルーマニア	7.2
3 10% FEDERATIVE REP 01/29	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	5.8
4 7% REP SOUTH AFRICA 2/31	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	5.8
5 10% BRAZIL NTN-F 01/25	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	5.7
6 7.75%UNITED MEXICAN11/42	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	4.8
7 8.375% EMPRESAS PUB11/27	社債券	コロンビアペソ	コロンビア	4.1
8 8% REP SOUTH AFRICA 1/30	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	4.0
9 8.5%MEXICAN BON011/38	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	3.5
10 4.893% MALAYSIA GOV 6/38	国債証券	マレーシアリングギット	マレーシア	2.8
組入銘柄数		40銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

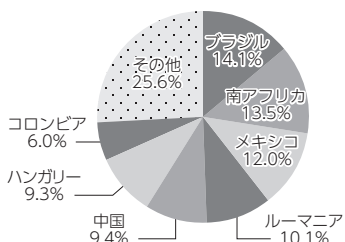
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

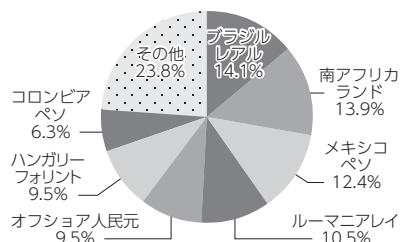
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

●当マザーファンドの運用状況につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。